

習志野 dX スタイル

みんなで習志野市のdXを進めるためのみんな(へ)のたより！

習志野市の未来に向かって
デジタル技術を有効に使っていこう

2024.1 習志野市

デジタル トランスフォーメーション
digital < X-formation
(trans)

【タイトルに込めた想い】

デジタルトランスフォーメーションとは、デジタル技術を活用して社会や生活の形を変えていくことです。デジタル技術の導入が目的ではなく、社会や生活の形を変えていくことが真の目的との考えのもと、一般的に DX と表すものを、d を小文字として、X を強調するようにしました。dX への考え方や行動を示す内容であることから、スタイルとしました。

そもそも、デジタルとは何だろう！

今なぜデジタルか？→今こそもっとデジタルを使っていくとき！

これまで～これから...世の中が変わっています！

dXスタイルが目指すところ！

みんなが主体的に関わる必要があります！

みんなで3つのdXを連携していこう！

みんなが7つの考えを持って、dXを進めていこう！

みんながデジタルとアナログ・リアル、2つとも大事にしていこう！

みんながそれぞれ取り組んでいくことのイメージ！

習志野 dX スタイルにおいて、

「デジタル」の言葉は、コンピュータやインターネットを総称する意味合いで使用しています。

「デジタル化」とは、デジタルの利用やデジタルを利用したサービスが浸透している状況を表しています。

そもそも、デジタルとは何だろうか？

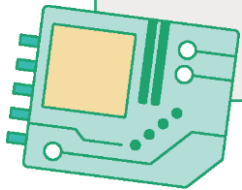
あくまでも手段

過去も、現在も、未来も、デジタルは目的ではありません。
目指す姿を実現するための手段のひとつです。



あらゆるサービスの基盤

これからもデジタルを基盤としてさまざまなサービスが提供されていきます。
普段利用しているサービスにもデジタルが使われています。



あたり前の存在

すでにデジタルは特別なものではありません。
私たちが生活する環境の一部になっています。



なぜデジタルか？→今こそもっとデジタルを使っていくとき！

1 デジタルを使うといいことがあるから！

近年の著しい技術進歩によって、
デジタルを使うと



- ✔ 生活が便利で豊かになります
- ✔ 物事が効率的になります
(ムダ・ムラ・ムリの減少)



デジタルをもっと上手に
使っていくことが大切です

固定電話→携帯電話→インターネットの進化で私たちの暮らしが変わりました。この流れは更に進んでいきます。

2 今後の社会を見通すと、デジタルを使っていく必要があるから！

人口増加 社会の高度成長

人口減少（少子化、超高齢化）社会の成長鈍化

【人口構造の変化のイメージ】

過去 → 現在 → 未来



1950 年頃



1975 年頃



2020 年頃



20XX 年頃？

将来的に社会の担い手が大幅に減少する一方高齢者が増加し、今よりも少ない人数で社会を支えていかなければならないことが予想されています。そのような中でも現在の豊かなサービスを維持していくためには、社会全体を効率化し、生産性を向上していかなければなりません。

そのためにも、もっとデジタルを取り入れていくことが必要です。

これまで～これから…世の中が変わっています！

1 課題と現状

- ・デジタルに慣れない方や使えない方がいます。
- ・デジタル化が進むことに、取り残されたり、追いつけないと不安を持っている方がいます。
- ・その場に行かないとできない、その時間に行かないとできないことがあります。
- ・紙での提出が求められます。

- ・デジタルを使える方が一般化しています。
- ・デジタルネイティブと呼ばれる、物心がついたときからパソコンやインターネットのある環境で育った世代がデジタルを使いこなしています。
- ・社会全体のデジタル化（オンライン、ペーパーレス等）が進んでいます。

2 社会や生活の形の変化

これまでは...

社会に

人が合わせる

人が覚えないといけない
その場所でなければならない
その時間でなければならない
その物がないと得られない



デジタルによって

これからは...

社会が

人に合わせる

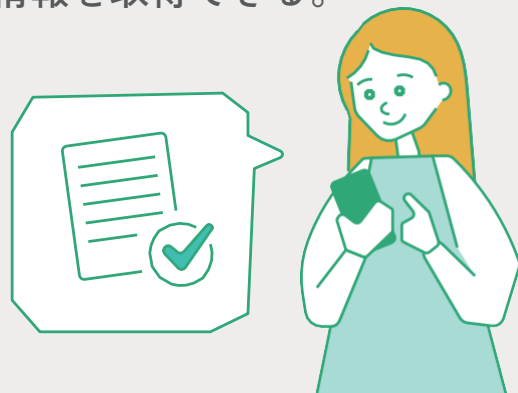
- ✓ 機器に記録させる
- ✓ どこにいてもできる
- ✓ いつでもできる
- ✓ 誰でも情報を得られる



みんなが、やさしさを持って
デジタルに接していくことによって、

安心感のもと、より便利に快適に暮らせるまち

だれでもいつでもどこでも、
必要な手続きができる、
必要な情報を取得できる。



みんなが、人・地域との
つながりを持つことができる。

みんなが、時間を有効活用できる。
(他に使える時間を創出する。)



デジタル技術を利用して

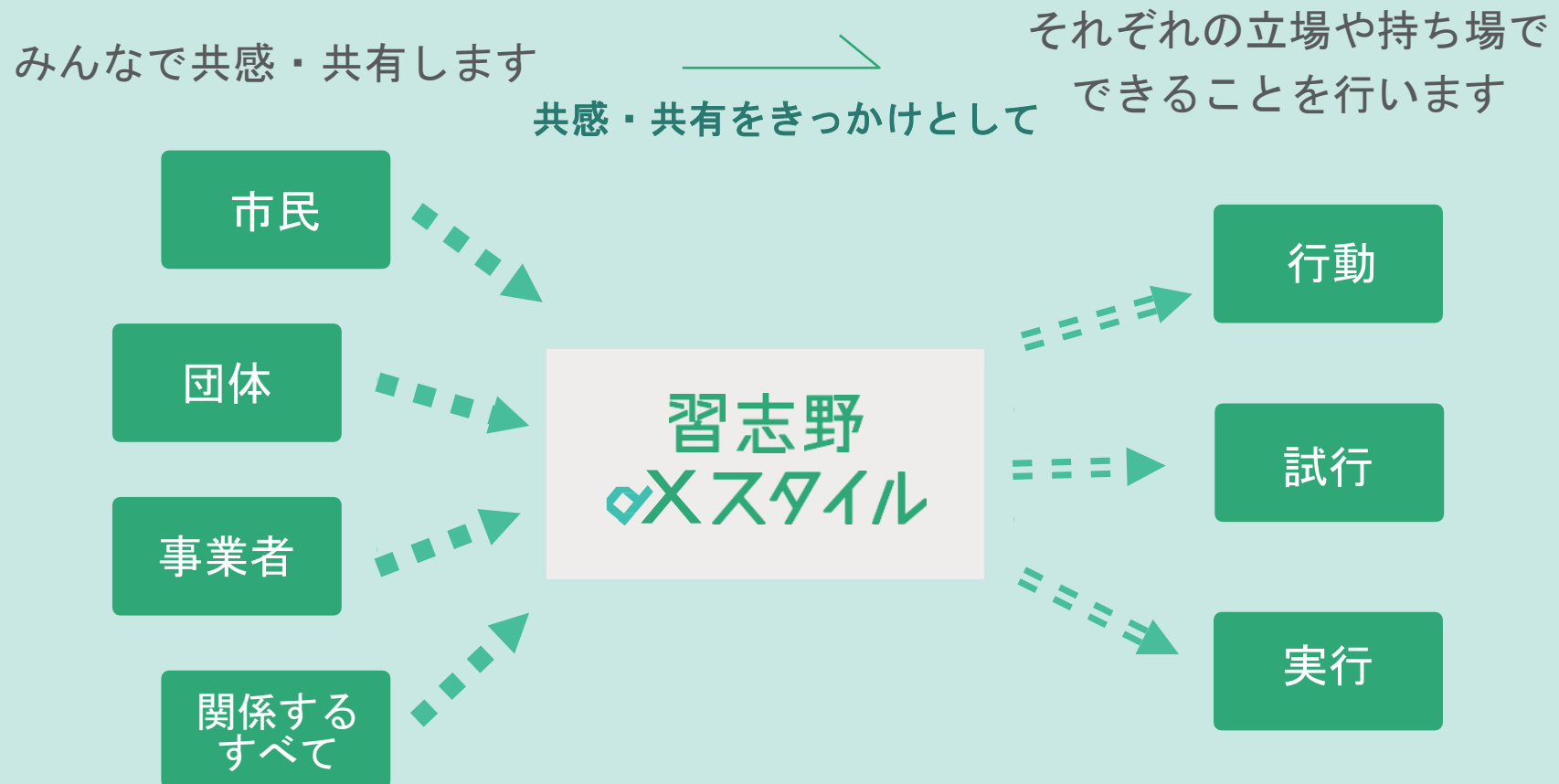
そのために

みんなで

現在の市民の不便さ等の課題を解消する。
将来に向けて新しいサービス（付加価値）を生み出す。

みんなが主体的に関わる必要があります！

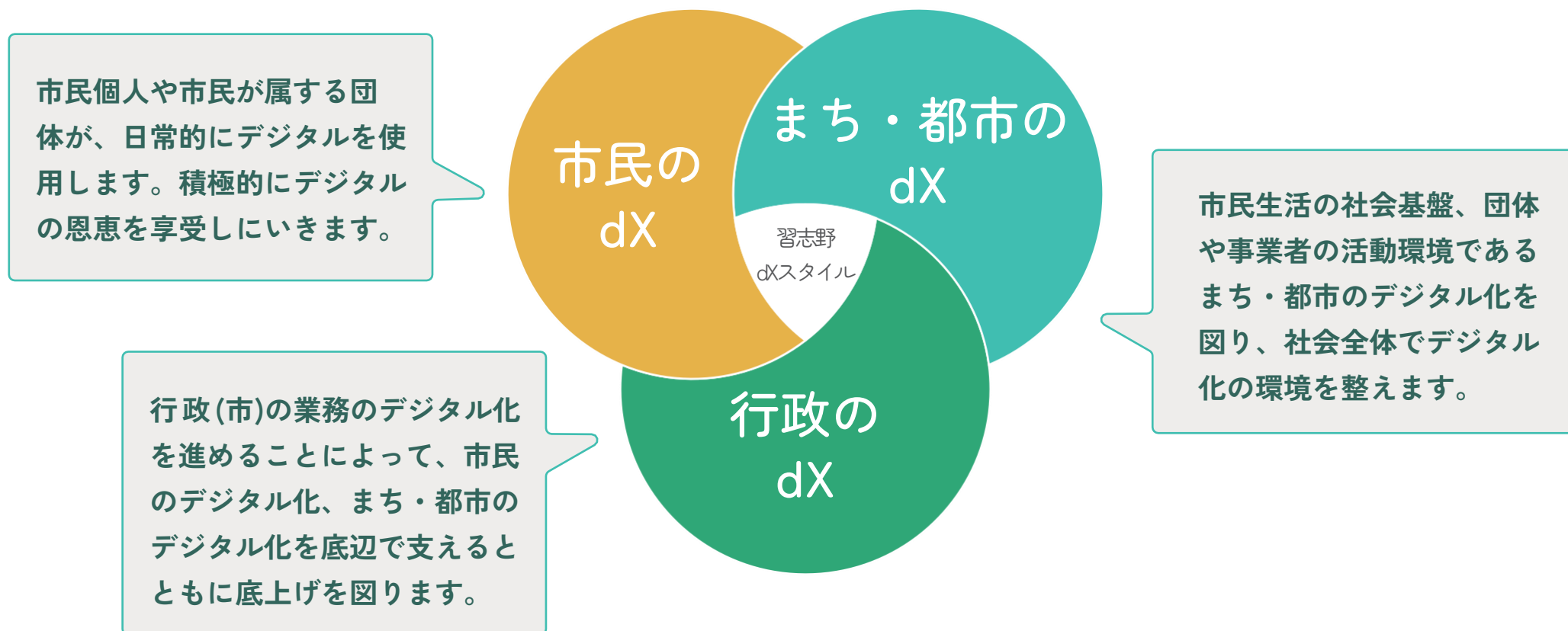
- 習志野市に関係するすべての個人、団体、事業者等が、dXスタイルを共感し共有します。
- それぞれの立場や持ち場で行動を起こし、できることを行っています。



みんなで習志野市の「種蒔き」^{たねま}「芽吹き」^{めぶ}「花咲き」^{はなさ}をしていこう

みんなで3つのdXを連携していこう！

市民、まち・都市、行政の3つのdXで一体的に推進



- ・ 習志野市の特徴である コンパクトさを活かし、本市に関わる みんなが密に連携していきます。
- ・ みんなが、時にはサービスの提供者になり、時にはサービスの受容者になることを理解します。
- ・ できる方（人、団体、事業者）が先行して取り組んでいきます。
- ・ 先行する方がこれから取り組もうとする方の支援や環境の整備をします。

みんなが7つの考えを持って、DXを進めていこう！

共想・共創・共走

みんなが想いを共感・共有し、みんなで創り上げ、みんなで一緒に走りながら、徐々によいものにしていきます。

01

常に利用者目線

何事においても、いつもサービスを使う利用者の立場から考えます。

02

投資は未来への種蒔き

現在の財政投入は、将来の負担軽減につなげるための投資、将来芽吹き成長して花が咲くための種蒔きと考えます。

03

実行する

小さくてもできることから着実に始めていき、そこで得た知識・経験を活かしていきます。失敗は次へ進むための発見と考えます。

04

安全性第一

すべてのサービスは安全性・セキュリティ対策が大前提にあって成り立ちます。（情報漏洩対策、個人情報保護、電源喪失など。）

05

視線は未来へ

歴史を学びつつ、未来を想像して、今何をしたらよいかを考えます。

06

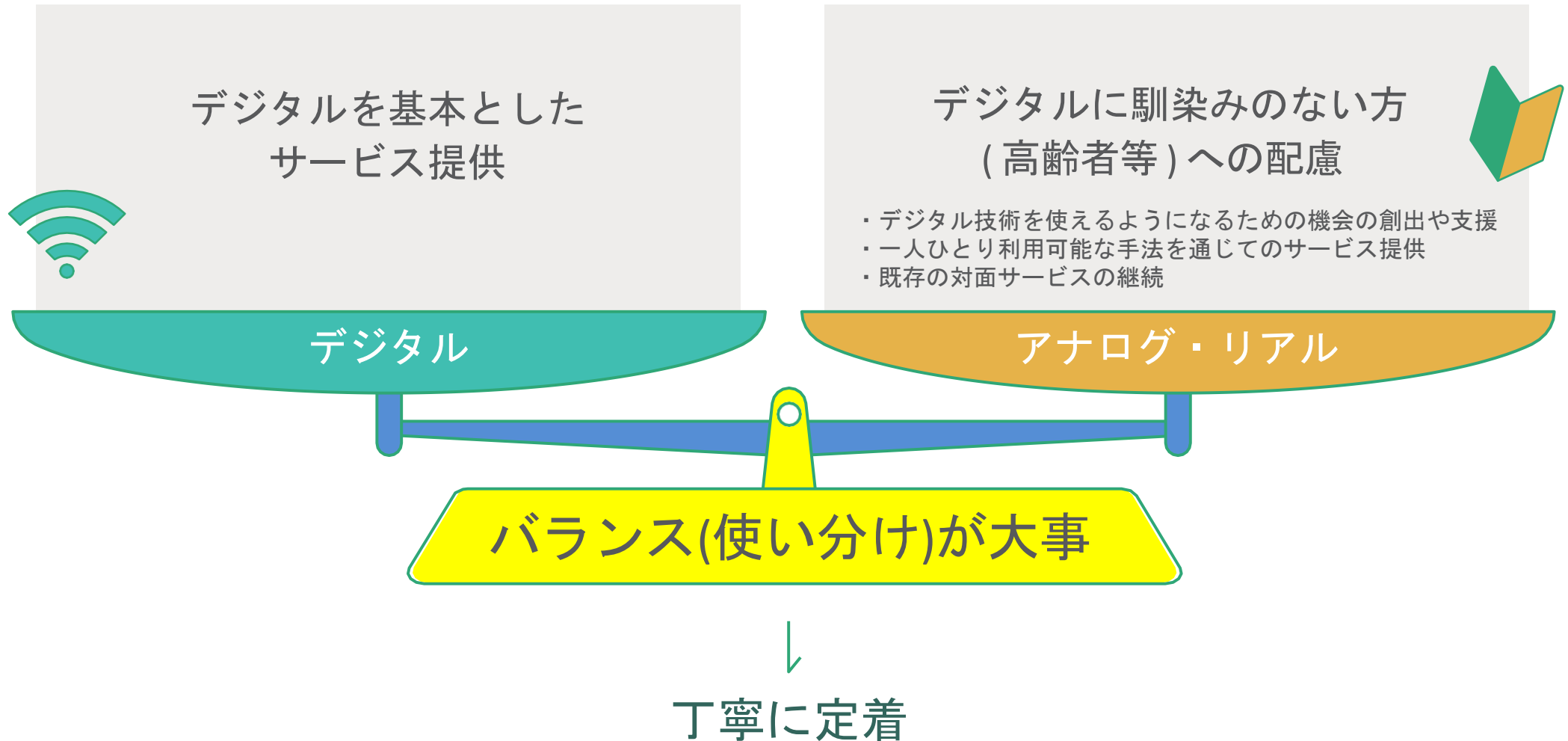
遊びを持つ

楽しさ（ワクワク感）とゆとりの双方の遊びを持って取り組んでいきます。

07

みんながデジタルとアナログ・リアル、2つとも大事にしていこう！

忘れてはならない大事な視点



みんながそれぞれ取り組んでいくことのイメージ！

これまでの方法の見直し

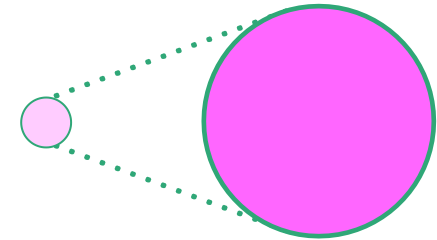
(アナログ・リアルからデジタルへのシフト)



新たな価値の創造

(新たなサービスの提供と受容)

小さなアイデアや
取組を大きく



——デジタルの取組の一例——

ペーパーレス
オンライン手続き・相談・講座
キャッシュレス決済
電子契約、電子請求、電子決裁

デジタル教育
みまもりサービス
テレワーク
(モバイルワーク)

——取組の一例——

マイナンバーカードの利用・活用
データを活用した施策 (システムやカメラ等のデータ
活用、オープンデータを活用したアプリ作成等)
AI(人工知能)を活用した施策
積極的な社会実験の実施

dXを進めるための下支えの取組 (安全・安心の確保)

安全・安心があってこそ、
さまざまなサービスが
提供されます。

サービス

安全・安心

——取組の一例——

情報セキュリティの確保
個人情報保護の徹底
リスク管理
トラブル発生時の迅速な対応
情報アクセシビリティ(誰でも情報の受発信が可能)の確保
デジタル技術の取得及び向上

習いて
志を高く
野を拓こう
未だ見ぬ地へ一歩進もう
来たる明日に向かって

